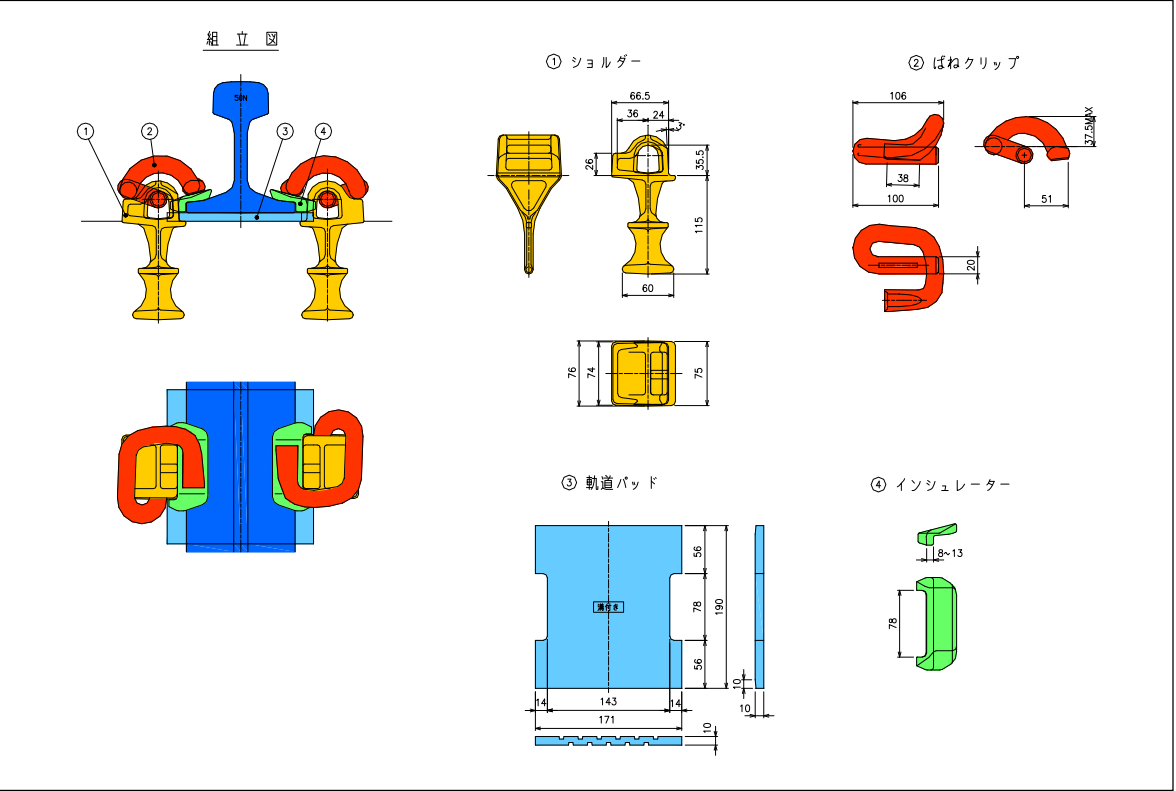


4. 仕様

品名	材質	仕様
ばねクリップ	SUP 9	JIS G 4801
軌道パッド	合成ゴム	JIS E 1117
ショルダー	FCD 500	JIS G 5502

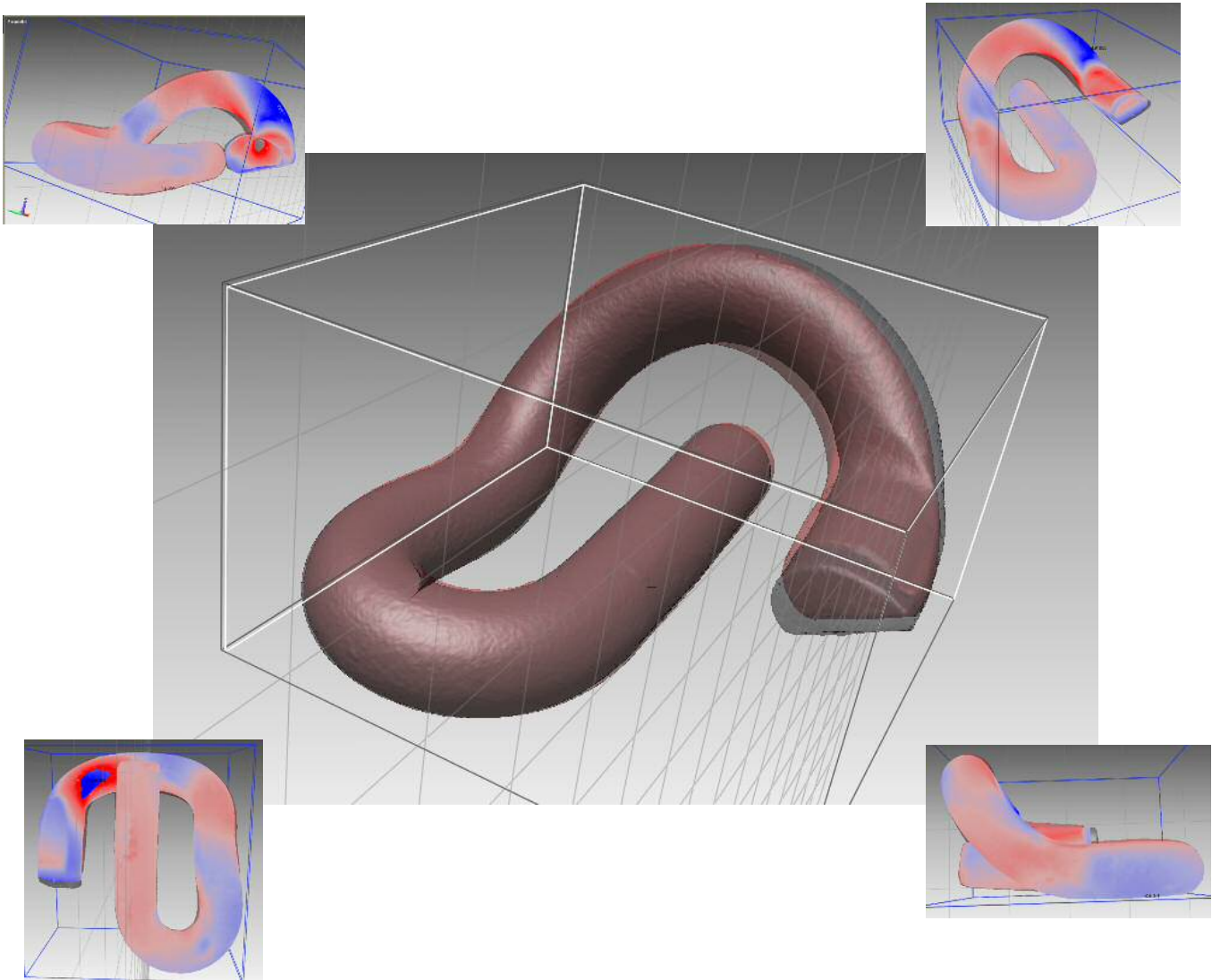
品名	材質	引張強度	備考
インシュレーター	強化ナイロン樹脂	4.5kN 以上	製品にて確認

5. 標準図



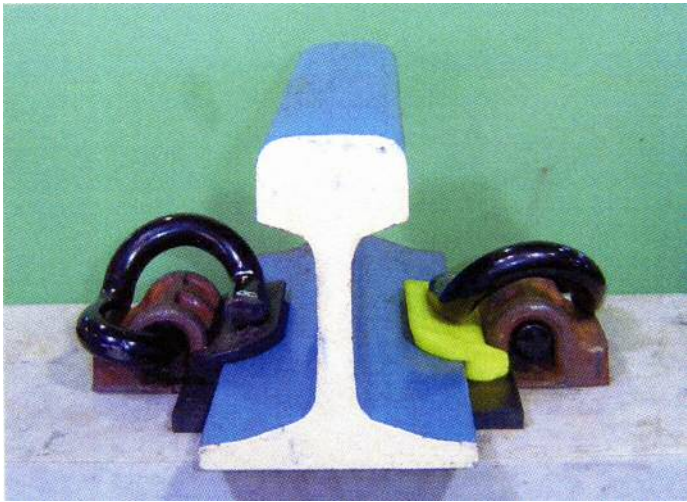
注：標準図はコンクリートまくらぎ用です。その他に鉄まくらぎ用も用意しております。

SST 線ばね型締結装置

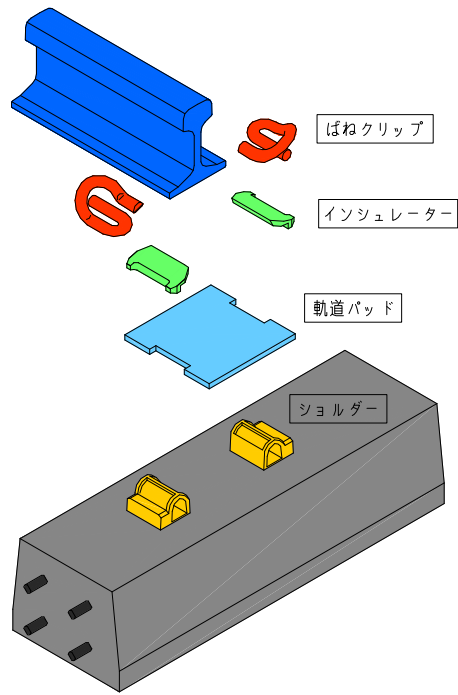


まえがき

日本の鉄道網は世界の中でも秀でた距離程を維持しております。
しかしながらこの鉄道網を維持するには保線システムと保線要員が必要となります。
近年、日本は就業者人口の減少と少子化が進み、保線を行う環境に厳しさが増してきました。
ここに紹介する「SST 線ばね型締結装置」は一般的締結装置の基本性能を保持し且つ安価でメンテナンスフリー（保守不要）の締結装置であります。



1. 製品構成



図－1 製品構成

2. 特 徴

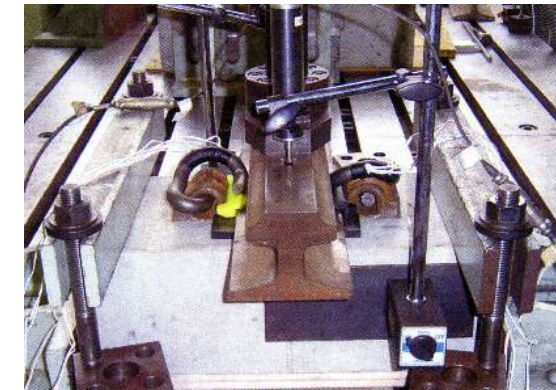
- ① 部品点数が少なく取り付け間違いがない。
- ② 取り付けが専用工具を使用する着脱式の為施工時の押え力のバラツキがない。
- ③ 締結力が従来の板ばね型締結装置より高い為ふく進抵抗力が高い。
- ④ 衝撃的な外力にも耐えるナイロン製のインシュレーターを使用している為電気絶縁抵抗も十分な数値を保持している。
- ⑤ 着脱式の取付方法の為メンテナンスフリーの締結装置。
- ⑥ 全て日本の規格に準拠した材料を使用している為高い品質を維持できる。

3. 性 能

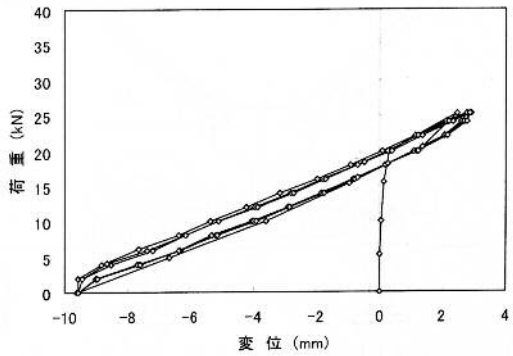
S S T 線ばね型締結装置は(財)鉄道総合技術研究所にて各種試験を実施し性能および安全性の確認を行っております。試験結果の一部を下記に示します。

(1) 先端ばね定数試験

クリップのレール押え力： $P_0 = 9.75\text{kN}$ 、先端ばね定数： $K = 0.95\text{MN/m}$



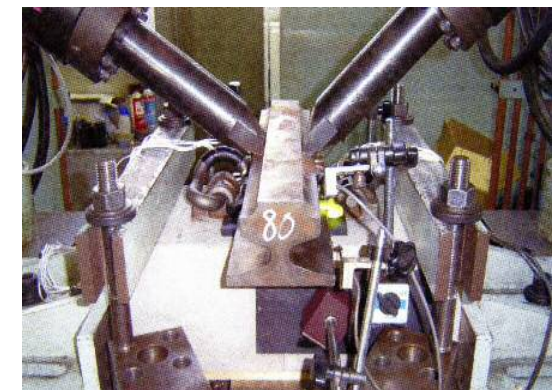
図－2 試験状況



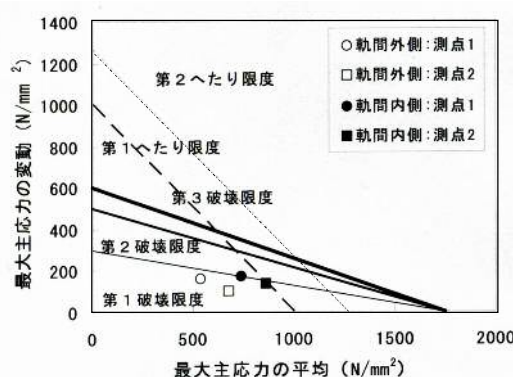
図－3 S S T 先端ばね定数試験結果

(2) 斜角载荷試験

レール小返り角： $\theta = 0.007\text{rad}$



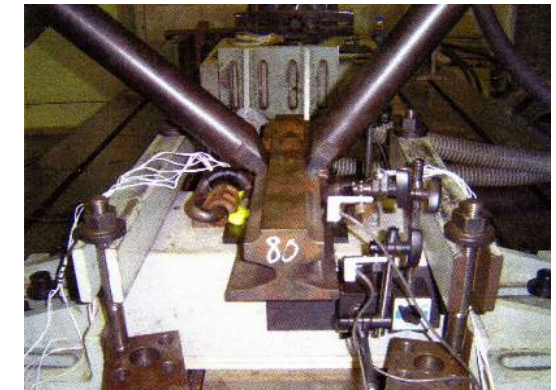
図－4 試験状況



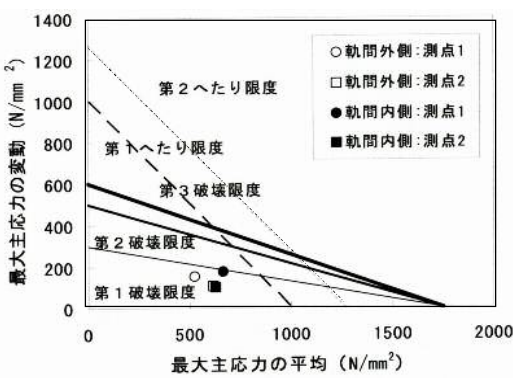
図－5 S S T 発生応力による照査

(3) 2 軸疲労試験

2 軸疲労試験（100 万回）において各部品に損傷なし



図－6 試験状況



図－7 S S T 発生応力による照査